

様式 F-7-1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成24年度）

1. 機関番号	3 2 6 0 4	2. 研究機関名	大妻女子大学																													
3. 研究種目名	基盤研究(C)																															
4. 補助事業期間	平成23年度～平成25年度																															
5. 課題番号	2 3 5 0 0 9 0 0																															
6. 研究課題名	父子家庭の生活の実態と意識に関する実証的研究																															
7. 研究代表者	<table border="1"> <thead> <tr> <th>研究者番号</th> <th>研究代表者名</th> <th>所属部局名</th> <th>職名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2 0 4 4 2 0 3 0</td> <td>ナガタ ハルコ 永田 晴子</td> <td>家政学部</td> <td>助教</td> </tr> </tbody> </table>				研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名	2 0 4 4 2 0 3 0	ナガタ ハルコ 永田 晴子	家政学部	助教																				
研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名																													
2 0 4 4 2 0 3 0	ナガタ ハルコ 永田 晴子	家政学部	助教																													
8. 研究分担者	<table border="1"> <thead> <tr> <th>研究者番号</th> <th>研究分担者名</th> <th>所属研究機関名・部局名</th> <th>職名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3 0 2 3 3 7 3 7</td> <td>ワタナベ チエコ 渡邊 千恵子</td> <td>尚絅学院大学・生活環境学科</td> <td>教授</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名	3 0 2 3 3 7 3 7	ワタナベ チエコ 渡邊 千恵子	尚絅学院大学・生活環境学科	教授																				
研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名																													
3 0 2 3 3 7 3 7	ワタナベ チエコ 渡邊 千恵子	尚絅学院大学・生活環境学科	教授																													
9. 研究実績の概要	<p>本年度は、主に前年度の研究成果の学会発表（2報）とアンケート調査実施へ向けた研究に取り組んだ。</p> <p>（1）前年度実施した研究成果の学会発表：5月に行われた日本家政学会大会では「新聞記事にみる父子家庭～1984年～2011年『朝日新聞』を中心に～」というテーマで口頭発表を行った。父子家庭に関する記事を通して、その時代における一般的な男性の職業観、家族観や父親の役割観、景気動向などに左右されながら、当事者の意見が社会に受け入れられ、制度が整うまでに長い年月が費やされていた様子が明らかとなった。10月の行われた家族関係学セミナーでは「父子家庭研究の展望と課題—過去30年間の雑誌記事より—」というテーマで口頭発表を行った。父子家庭の問題把握に焦点化した研究にはじまり、施策やジェンダー・子どもの視点に立った研究を経て、ひとり親家庭の階層性や貧困問題と自立支援に関する研究へと視点が移っていったことが確認された。依然として、父子家庭の生活問題の実態把握の難しさは指摘されており、生活の実態を的確に捉える必要性がある一方で、父子家庭を取り巻く社会が変わっていく必要性が示唆された。</p> <p>（2）アンケート調査について：アンケート調査の実施方法及び予想される調査対象者数について再度検討を行い、一定数の調査対象者を確保するため、調査会社へ依頼しインターネット調査にて実施することとした。本年度公表された平成23年度全国母子世帯等調査の結果を踏まえ、調査内容の修正を行った。調査会社の選定を行い、（株）インテージへ依頼することとした。平成25年4月に予備調査の実施、平成25年度5月に本調査を実施する予定である。</p> <p>（3）インタビュー調査について：追跡可能な対象者および調査項目の検討を行い調査内容を決定した。来年度実施するアンケート調査の結果も踏まえて次年度の夏に実施する予定である。</p>																															